

## 市民活動応援補助金報告会の開催方法について ～アンケート①・②とりまとめ結果より～

### 1 開催目的

- ・各事業（団体）の成果報告を公開の場で行うことで、参加者による情報の共有や団体間の交流促進、より多くの市民に市民活動を知ってもらう機会とする。
- ・また、行政としても、市民活動推進施策の展開を図る上での情報収集の場とする。

### 2 対象団体

- ・原則として、市民活動応援補助金の全交付団体を対象とする。

### 3 報告方法

#### (1) プレゼンテーション形式

- ・団体側の負担を考慮し、A 4 用紙 1 枚程度の簡易な書式を用意。
- ・事業報告、会計報告、活動概要等を資料とする。

#### (2) パネルディスカッション形式

- ・各団体 1 名で、スタートアップ、ステップアップの二部構成、又は事業内容で分ける。
- ・成果と課題（よかったこと、困っていること）を発表する。
- ・講評「市民活動の意義」など … 委員長

### 4 その他

- ・交流会等の既存事業や他分野の事業と一緒に開催
- ・会場内に写真などを掲示（←団体側の負担増加？）
- ・報告会への集客の工夫（開催場所、飲食物の提供、相談窓口、パネル展など）
- ・「市民活動を支える会」との連携
- ・欠席団体も経過報告書の提出等により、報告を義務化
- ・報告事業を PR し、市民活動のすそ野を拡大